

平成 27 年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

【めざす学校像】

文武に偏りのない、地域と共に歩む、“骨太の人格”を備えた人材を輩出する学校

・・・骨太：何にでも果敢に挑戦する、そして少々のことではへこたれない、という意味。

「勉強を頑張る」「学校行事も頑張る」「部活動も頑張る」、何事にも真剣に取り組み、社会に貢献できる若者を育成できる学校・・・

めざす学校に近づけるために、育みたい生徒の力・望む教職員の力

【生徒に育みたい力】

○学び続ける力

○人と繋がる力

【教職員に望む力】

○生徒に関心をもつ力

2 中期的目標

1 学び続ける力の育成

☆2年後以降の国公立大学への現役合格80名（8クラス規模で）

(1)八尾高スタンダードの策定・展開

(2)教科としてのスタンダードの策定・展開

(3)1年次「1学期」でのボトムアップ

(4)自学自習・家庭学習の充実

(5)アドバンス教育コースの充実

(6)新学習指導要領に対応した教育課程の充実

(7)本校教員による講習・教育産業の有効活用

2 人と繋がる力の育成

(1)授業を大切にする、授業の緊張感を大切にするからこそその遅刻防止

(2)勉学に軸足を置いた学校行事の活性化

(3)勉学に軸足を置いた部活動の活性化

(4)人権教育スタンダードの策定・展開

(5)生徒指導スタンダードの見直し・実践

3 生徒に関心をもち続ける教育活動

(1)わかる授業・できる授業・魅力ある授業（生徒に日々の成功体験と背伸びする勇気を）

(2)教育相談活動の充実

(3)研修の充実

4 地域と共に歩む学校

(1)大阪教育大学における聴講制度の継続

(2)地域の中学校・小学校等との連携の充実

5 同窓会・PTAとの連携

(1)今年度開催の創立120周年記念式典の成功

【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成 27 年 12 月実施分]	学校協議会からの意見
<p>【生徒アンケート】</p> <p>〔結果〕</p> <p>・高校での教育全体についての質問 12 項目に対して、11 項目で肯定的な回答のポイントがアップした。特に「保護者・他校・地域と係る機会がある」「基本的な生活習慣の確立に力を入れている」の項目では、前年度比 4 ポイント以上のアップとなった。</p> <p>・授業、学習指導、生活指導についての質問 7 項目に対して、6 項目で肯定的な回答のポイントがアップした。特に「質問や勉強方法などを相談できる先生が多い」「将来の進路・生き方について自ら考えられることができつつある」の項目で、前年度より 3 ポイント以上アップとなった。</p> <p>・学校生活についての質問 11 項目に対して、8 項目でポイントを伸ばした。特に生徒会行事は、生徒会を中心に組織的効率的に運営されている</p>	<p>1. 実施 第 1 回（5 月 11 日）、第 2 回（10 月 26 日）、第 3 回（2 月 15 日）</p> <p>2. 大阪教育大学教授、八尾市立成法中学校長、八尾市立八尾小学校長、児玉塾塾長、同窓会副会長、PTA 会長</p> <p>3. 第 1 回内容</p> <p>「平成 27 年度の学校経営計画について」</p> <p>①進路実績について</p> <p>・地方の国公立大学まで目を向けることはいいことだと思う。国公立型の幅広い勉強をすることで、私学入試にも対応できる。生徒に伝えてほしい。</p> <p>・国公立型の勉強は八尾高生に合っている。</p> <p>・大学進学まで考えて入学する生徒は少ないのでは？宿泊研修等で国公立大学に合格できる力はあるということを伝え、その気にさせることは大切。</p>

の項目では、8ポイントアップとなった。

・学習態度、受験勉強の項目では、ポイントを伸ばすことが出来なかった。

〔分析〕

教育活動全体および学習支援の体制にすべてにおいてポイント伸ばしていることより、受け皿の整備は進んでいると考えられる。しかし、学習態度、受験勉強でポイントを伸ばせていない点で、生徒の内面的変化を促す支援や指導の充実が必要であると考えられる。

【保護者アンケート】

〔結果〕

・ほぼ前年と同様の結果となった。
 ・3ポイント以上伸ばした項目は、「骨太な生徒を育てようとしている」「規律指導は納得できる」「PTA活動は活発である」「校内美化や衛生管理に努めている」の4項目と、特に10ポイント伸ばした「子どもは、興味を引く、わかりやすい授業が多いと言っている」である。

〔分析〕

10ポイント伸ばした“授業力”の項目は、各教科担当や教科による授業アンケート後の振り返りや、教員相互の授業見学期間の設定などが挙げられる。今後もより充実した継続が必要である。

【教職員アンケート】

〔結果〕

・多少の増減はあるが、概ね例年通りであった。
 ・前年ポイントが低かった項目が大きく伸びた。「本校の教育は、授業・部活動・行事・HR活動等のバランスが良い」（前年度37%→今年度57%、20%増）。「分掌・学年・委員会等、各組織間の連携が円滑であり、有機的に機能している」（前年度36%→今年度49%、13%増）。
 ・「教育活動全般について、地域・小中学校・卒業生等の期待に応えている」「学習到達度の低い生徒に対する指導や取り組みが全体的に行われている」の項目が、大きく16ポイント伸ばした。

〔分析〕

・懸案であった“文武両道”の取り組みが一定の成果を収めつつあり継続した取り組みが必要である。

・センター試験の出願が9割超とのことだが、2年から3年にかけて、あきらめることなく頑張らせてほしい。

②文武両道について

・企画力、プレゼン能力を高めることを八尾高生に望みたい。イメージとしておとなしい。
 ・生徒に任せるところは任せ、生徒を前に出させるという部分に期待している。
 ・八尾高校といえば、メインは部活動ではなく、勉学に軸足を置いた上で、部活動をしている。また部活動の中でも学習面を重視してきていることをもっとアピールするとよい。
 ・オープンキャンパス等で生徒が出てくることは、とてもいい。中学生も八尾高生であれば本音で話せる。中学生に説明するとなれば、八尾高生もそれなりに練習する。八尾高の生徒が話しをすることで学校のことがよくわかるのでは。

③その他

・70期生（1年生）の手帳の導入はとても良いことだと思う。思考したことを文字で表現する。考えたことを書くのはいいこと。自分がどう考えたかを文字で書けるようになることが力になる。大人になってからも強い武器になる。
 ・120周年行事が11月にある。式典に参加することで伝統のある学校にいたことが実感できるのでは。

4. 第2回内容

「今年度の取組みの進捗について」

①生徒の生活について

・遅刻者数がH25年度から着実に減少してきている。就寝時間が遅い生徒も多いようだが、「朝起きることができない」→「遅刻者増加」となっていないのは、遅刻指導や朝のSHRを実施することの効果が大いと考えられる。

・家庭における学習以外の過ごし方では、スマートフォン利用が最も多い。生活指導部の指導の一つで「Noスマホウィーク」を設定しているが、とてもいいことである。

②学習について

・塾では、「高校生になれば予習復習しなさい」と言っている。たとえ30分でも家で勉強し、勉強時間が増えれば後々、違ってくる。

・スタディサポートの実施、高校生の自学自習徹底を目的として宿泊研修の実施、進路指導部中心に学年と教科が連携して新しいうねりをつくるとのことだが、大学でも学生と指導教員とが面談する等、システム作りが進んできている。

5. 第3回内容

「今年度の新たな取組みについて」

◇今年度の1年次生（70期生）が導入した、スケジュール管理用の「手帳」について

<導入の背景>

・八尾高校の課題のひとつに「家庭学習の不足」
 ・この間、学校として、家庭学習の習慣づけのための様々な取組みを実施：1年生の早い時期で自学自習の方法を学ぶ「新入生宿泊研修」・部活動との両立のための「下校時間の徹底」・朝のSHRでの小テスト・定期考査前1週間のスケジュール管理 等々。
 ・しかし、もっと家庭学習の時間を延ばすことができるのではないか。
 ・このことから、生徒全員に「手帳」を活用させる。

<協議>

・学習時間を「見える化」することの意味は大きい。
 ・学校側がより有効に活用する方法を模索中の1年であったにもかかわらず、生徒へのアンケート「時間を意識するようになった」が41%。生徒のタイムマネジメントのための有効なツールになる。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
学び続ける力の育成	(1)八尾高スタンダードの策定・展開 (2)教科としてのスタンダードの策定・展開 (3)1年次「1学期」のボトムアップ (4)自学自習・家庭学習の充実 (5)アドバンス教育コースの充実 (6)新学習指導要領に対応した教育課程の充実 (7)本校教員による講習・教育産業の有効活用	(1)昨年度の新入生より年次進行により策定する (2)昨年度の新入生より年次進行により策定する (3)国公立合格に対応できる基礎学力を養成する (4)①1年次に宿泊研修を実施する ②1,2年次12月下旬に2日間のロングラン勉強会(自学自習中心の勉強会)を実施する ③日常的に教科から要求する (5)コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力の育成を重視した取組みを継続する (6)教育課程を検証する (7)①本校教員による講習を実施する ②教育産業を有効活用する	(1)2年間のスタンダードの提示 (2)2年間のスタンダードの提示 (3)・1年次生の授業の緊張感を維持できたか ・2年次生の学力生活実態調査において、現役国公立合格圏内者数が100名 (4)①満足度(アンケート肯定的回答90%以上(H26:90%)) ②満足度(アンケート肯定的回答95%以上(H26:95%)) ③学校教育自己診断「家庭学習」肯定率(1年次生50%(H26:45%)) (5)満足度(アンケート肯定的回答95%(H26:95%)) (6)教育課程の不備等の確認等 (7)①・年間通しての講習の有無 ・学校教育自己診断「授業以外の学習支援」肯定率83%以上(H26:82%) ②・活用の有無 ・満足度(アンケート肯定的回答85%以上(H26:85%))	(1)提示済み(○) (2)策定済。年度末までに提示。(○) (3)・遅刻数(1年次生):年間147件…前年度の32%減。前々年度の65%減。 ・遅刻数(2年次生):年間305件…前年度の58%減。 ・2年次生の学力生活実態調査:現役国公立合格圏内者数105名 ・学校教育自己診断「態度良く集中して授業を受けた」:肯定率75.3%(昨年度より0.3ポイントアップ)(○) (4)①満足度:肯定率95% ②合宿形式をとらずに2日間の学習→満足度:肯定率100% ③「家庭学習」1年次生:肯定率35% 2年次生:49% ④「携帯・スマホ」:1時間未満33.2%(昨年度29.3%)(○) (5)アンケート:95%(○) (6)不備等は確認されなかった(○) (7)①・年間通しての講習を実施 ・「授業以外の学習支援」肯定率84% ②・全学年で実施 ・アンケート:90%(○)
人と繋がる力の育成	(1)授業を大切にす、授業の緊張感を大切にすからこその遅刻防止 (2)勉学に軸足を置いた学校行事の活性化 (3)勉学に軸足を置いた部活動の活性化 (4)人権教育スタンダードの策定・展開 (5)生徒指導スタンダードの見直し・実践	(1)一昨年度5月から強化した遅刻防止指導を継続する (2)勉学に軸足を置いた学校行事を計画し取り組む (3)勉学に軸足を置いた部活動を計画し取り組む (4)昨年度の新入生より年次進行により策定する (5)生徒への要求項目等の見直しをする	(1)遅刻数の減少 平成26年度の10%減(H26:1715) (2)・八尾高スタンダードへの位置づけ ・行事準備期間中の下校時間等、約束事の順守 (3)・八尾高スタンダードへの位置づけ ・日々の下校時間等、約束事の順守 (4)2年間のスタンダードの提示 (5)2年間のスタンダードの提示	(1)4月~12月:前年度の22%減(◎) (2)・概ね策定 ・順守できた(○) (3)・概ね策定 ・順守できた(○) (4)概ね策定(○) (5)概ね策定(○)
生徒に関心をもち続ける教育活動	(1)わかる授業・できる授業・魅力ある授業(生徒に日々の成功体験と背伸びする勇気を) (2)教育相談活動の充実 (3)研修の充実	(1)一人ひとりの生徒に関心をもちた授業を実践する (2)高校生活支援カードから教育相談への流れをつくる (3)・人権研修を実施する ・学校外の研修を伝達する	(1)授業アンケート「授業に対する生徒の意識」項目のポイント(3.06点以上/4点満点(H26:3.06)) (2)・支援を必要とする生徒の情報共有 ・教育相談への流れの継続 (3)実施の有無	(1)「授業に対する生徒の意識」項目のポイント(3.14点/4点満点)(○) (2)・情報共有できた ・教育相談への流れ:有(○) (3)・職員人権研修:①5/27「生徒の現状を知り、自立に向けた支援」 ②12/10「LGBTの生徒の現状と教職員としてできること」 ・学校外の研修「保護者対応」の実施(○)
地域と共に歩む学校	(1)大阪教育大学における聴講制度の継続 (2)地域の中学校・小学校等との連携の充実	(1)昨年度より大学の事情で対象講座数が減少するが、充実した取組みを継続する (2)・八尾市立成法中学校区の「チャレンジキッズ」に参画する ・地域の小学校、幼稚園との連携を継続する	(1)・希望生徒の聴講実現 ・満足度(アンケート肯定的回答97%以上H26:97%) (2)実施の有無	(1)・希望生徒の聴講を実現 ・アンケート:98%(○) (2)・6/20、27チャレンジキッズで連携 ・11/13安中小学校1年生、11/19八尾小学校1年生と「どんぐり拾い」の交流 ・今年度より近隣の白鳩幼稚園に家庭科の授業の一環で8回交流 ・12/7・8八尾小学校1~4年の児童、ニコニコマラソン大会のボランティア参加。 (○)
同窓会・PTAとの連携	(1)今年度開催の創立120周年記念式典の成功	(1)周年行事を滞りなく実施する	(1)成功したか	(1)・11/14記念式典・祝賀会:滞りなく実施 ・記念誌:予定通り作成(○)